

Dance Drill All Japan Competition 2021

Dance Challenge Cup

大会要項

1. **大会名称** Dance Challenge Cup / ダンスチャレンジカップ
2. **期 日**
EAST 2021年12月17日(金)、18日(土)、19日(日)
WEST 2021年12月25日(土)、26日(日)
VTR 審査 2021年12月27日(月) 映像提出〆切・1月上旬審査結果送付予定
3. **会 場**
EAST 舞浜アンフィシアター
WEST 南海浪切ホール
4. **主 催** NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン
5. **大会参加費** 1 エントリー毎、チーム参加費 20,000 円(5 名分の参加費含む)参加者 1 名追加につき 4,000 円追加。4 名以下で参加の場合もチーム参加費 20,000 円が必要となる。
6. **エントリーについて**
 - ① 参加同意書について
本大会要項をはじめ本法人の定める諸規定・ルールを確認・了承の上、代表者・選手・保護者の理解の元、参加同意を得た上で本大会へエントリーすること。
大会参加にあたり選手・引率の保護者(成人の場合本人)が記入した“参加同意書”(ホームページ内“各種書類”より取得)を収集・提出すること。
エントリー受付完了後、速やかに事務局まで登録者全員分の原本を郵送にて提出すること。
 - ② エントリー受付
 - * エントリー総数には上限がある。エントリーは先着順。(予定エントリー定数は特設ページに掲載)
 - * エントリーは WEB 上のフォームで行う 1.チーム登録と Excel シートで行う 2.選手登録の二段階で行う。
 - * 1.チーム登録及び 2.選手登録の受付をもってエントリーとする。
 - ③ 複数部門へのエントリー
 - * 1 名につき同日内 2 エントリーまで可。
 - * 複数部門に出場する場合は、重複関係がわかるよう 2.選手登録シートに記載すること。
 - ④ VTR 審査
 - * 規定に則り撮影・提出された映像をもって審査を行う。
 - * 撮影方法および提出方法は別紙「VTR 審査撮影ガイドライン」(ホームページ内“各種書類”より取得)を参照。
 - * 映像提出について
2021年12月27日(月)までにエントリー受理メールに記載の宛先に提出すること。
 - * 審査結果送付時期
2022年1月上旬に発送予定。
 - * VTR 審査はエントリー総数に上限はない。

⑤ エントリー方法およびエントリー期間

- * 特設ページより参加希望の日時・会場を選択の上、1.チーム登録を行うこと。

EAST申込 2021年10月18日(月)12時より10月20日(水)17時まで

WEST申込 2021年10月25日(月)12時より10月27日(水)17時まで

VTR審査申込 2021年10月29日(金)12時より11月8日(月)17時まで

- * 2.選手登録シートは 1.チーム登録をした団体にメールにて配信する。
- * エントリー受付後、大会事務局より順次確認メールを送信する。
確認メールを受信するまで、電話での問い合わせ・受付前の入金を行わないこと。
- * 申込期間中でもエントリー定数に達した時点でエントリーを締め切る。

⑥ エントリーの注意事項

- * 1.チーム登録フォームに入力漏れ、不備があった場合は**無効**となる。
- * 2.選手登録シートは **Excel形式**のみ受付可。Numbers・PDF等その他のファイル形式は受付不可。
- * エントリー後の増員、メンバー変更は参加費の入金期日までに修正した 2.選手登録シートを再度提出すること。
- * 同一内容のエントリーを複数行った場合、同一団体からのすべてのエントリーを**無効**とする。
- * 1.チーム登録後の大会区分・出場日の変更はできない。

7. 実施部門及び編成

編成	出場資格	実施部門					
		Challenge Pom	Song/Pom	Jazz	Hip Hop	Dance Drill	Solo Duet/Trio
Tiny	出場選手全員が未就学児の編成	○	×	○	○	○	○
Mini	出場選手全員が小学校4年生以下	○	○	○	○	○	○
Youth	出場選手全員が小学校6年生以下	○	○	○	○	○	○
Junior	出場選手全員が中学生以下	×	○	○	○	○	○
Senior	出場選手全員が高校生以下	×	○	○	○	○	○
Open	年齢による出場制限なし	×	○	○	○	○	○

- * 出場編成は年長者の出場選手に合わせること。
- * 3名以下でエントリーする場合は「Solo、Duet/Trio」部門か「Challenge Pom、Song/Pom、Jazz、Hip Hop、Dance Drill」の各部門でエントリーするか選択できる。

8. 演技時間

- ① Challenge Pom、Song/Pom、Jazz、Hip Hop、Dance Drill 部門 2分15秒以内
- ② Solo、Duet/Trio 部門 1分30秒以内
- ③ 演技時間とは、動き出しもしくは曲の始まりから、動き終わりもしくは曲の終わりまでとする。

9. 評価について

★ 下記点数によりエントリー選手全員にそれぞれ金、銀、銅のメダルが送られる。

メダル	銅	銀	金
点数	～69点	70～79点	80点～

10. 演技フロア

- 演技フロアのサイズは別紙を確認すること。
- 演技フロアの中央に縦のラインを引く。さらにセンターポイントとして横に1mラインを引く。
- 全ての演技は演技フロアの中で行わなければならない。
- 演技フロアの保護のため、出場選手はピンヒール等の床に傷のつく恐れのあるシューズを着用してはならない。
また演技に使用するバトン、プロップ等の先端や床との設置面にゴム等を装着し床に傷を付けない処置をすること。

11. 音源について

- 音楽ファイルはWAV、AAC、MP3のいずれかのデータ形式で提出すること。
- 編曲されている場合でも1曲として編集すること。
- 違法ダウンロードによる楽曲(サンプル楽曲含む)を使用しないこと。
- ファイル名を「出場日」、「エントリーNo.」、「出場部門」、「チーム名」に変換すること。
例：20211217_01_POM_ダンスドリルチーム
- 音楽データはタイムテーブル発表後、大会の一週間前までに別紙「大会使用音楽届出」(ホームページ Top ページ右上“各種書類”より取得)に必要な事項を入力の上、まとめてエントリーと同様のメールアドレスまで提出すること。
提出はメール添付もしくは [Dropbox リンク](#) を利用すること。
- 出場に関しての留意事項
曲の歌詞は、全ての観客が聞くに相応しいものであるよう最大限の努力をすること。
日本語以外の歌詞の楽曲を使用する際はその歌詞に不適切な言葉がないか必ず確認をすること。

12. セーフティガイドライン

本大会では、安全に競技を行うため、下記のセーフティガイドラインを設定する。

- シューズを必ず履くこと。(コンテンポラリーシューズ等は可)
ピアス、イヤリングは禁止。
- ポンポンやプロップを持った状態での演技フロア上での体重をかける技やタンブリングは禁止。
(ストールなどを含む)
例外：前転・後転は認められる。
手に体重をかける技やパートナーリング、リフトにおいて、体重がかかる手に何も持っていない状態で演技フロアや他の選手に接していること。
- リフトは、人の上(肩、背中、手、膝など)に乗る場合必ず出場メンバー内で補助をつけること。
人の上(肩、背中、手、膝など)から飛び降りることは禁止。
但し、ジャンプの踏み切りから着地まで補助があれば実施可能。(リフトとみなす)
- 空中で回転を伴うアクロバット技については一人で行うこと。(バックフリップ、側宙、バク転、前方転回など)

E. Challenge Pom 部門は上記 A、B、C に加えて下記の規定を順守すること。

* Kick

➤ すべて実施可。

* Turn

➤ ピルエットはパッセ 2 回転まで実施可。

➤ ピケ、シェネ 2 連続まで実施可。

➤ フェット実施不可。

* Jump & Leap

➤ 踏み切りから着地までに足のポジションや体の向きが変わるものは実施不可。

例：実施可 トータッチ、ジュッテなど

実施不可 スイッチリープなど

➤ 回転を伴うものは実施不可。(ソデバスク、カリプソなど)

➤ コンビネーションは 2 つまで実施可。(ダブルトータッチ、ジュッテ 2 連続など)

※コンビネーションとは、テクニックとテクニックの間に 1 カウント以上のステップやポーズ、振付を挟まず連続して行うことを指す。

* アクロバット

➤ 前転・後転のみ実施可。

F. その他、審判員が危険とみなした行為。

13. ペナルティ(全部門共通)

① 8 項が定める演技時間を 5 秒超過した場合は結果より **2 点減点**する。

② 10 項 d)演技フロア保護の為の適切な処置がされなかった場合、**失格および修繕の為の実費を請求する。**

③ 12 項が定める禁止事項一回の実施につき、結果より **2 点減点**する。

④ 審判員が危険とみなした行為を実施した場合、その程度により**警告、減点、失格**とする。

14. 共通審査項目

フロア全体を使い SHOW UP された観客を魅了するパフォーマンスとその完成度が要求される。

部門ごとのテクニックにおいて難度の高さがすべてではない。

未熟なものは逆に作品の完成度を下げってしまうことになる。

【演技内容】

g) チーム／部門ごとのオリジナリティある演技。

h) 多様なフロアの使い方、フォーメーションの連続性のある移り変わり。

i) 技の難度がチームのレベルにあっていること。

【実施】

● 正確さ。(一致した動き、人と人との間隔が均等であることなど)

【演技者としての自覚】

● 観客を楽しませる表情、表現力、アピール。

【外見】

● 工夫を凝らした美しい衣装。(年齢に合ったものを着用し、観客に不快感を与えるものは避けること。)

15. 部門毎の審査ポイント

※下記にあるテクニックとは各年代・チームにあったテクニックを指す。

① Challenge Pom (2021 年度新設)・Song/Pom

POM を生かし、視覚的効果のある構成と正確でシャープなアームモーションが求められる。
※全員で全体の 80%以上 POM を使用すること。

② Jazz

ダンステクニックと振付-音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められる。

③ Hip Hop

音楽と調和した連続性のある構成と、技術の正確性、ボディコントロールが求められる。

④ Dance Drill

設定されている部門以外のダンスジャンルであること。

各ジャンル(プロップ/メジャーレット/フラッグ等)の特徴を生かした構成が求められる。

⑤ Solo

ダンステクニックと振付-音楽が融合した構成、技術の正確性とバレエベーシックが求められる。
また、1人でどこまで会場を魅了できるかが重要となる。

⑥ Duet/Trio

各ジャンルのダンステクニックと振付-音楽が融合した構成、技術の正確性が求められる。

上記①～④までのジャンルがベースになっている事が望ましい。

16. その他

新型コロナウイルスの感染防止の為、厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁をはじめ都道府県や市区町村、選手が所属する学校等が定めたガイドラインを参考に、大会へ向けた練習を行うこと。

必ずしも難度の高さが評価につながるものではない。

〈推奨しない演技内容〉

- 選手同士が接触する行為
- 選手同士が向き合う行為
- 選手同士でバトンやフラッグ、プロップ等を共有する行為

上記に関して、実施しても減点・ペナルティはないが、感染防止を念頭にチーム責任者・選手・保護者の理解の元、実施内容を検討すること。

17. 大会に関するお問い合わせ

NPO(特定非営利活動法人)ミスダンスドリルチーム・インターナショナル・ジャパン

〒102-0083 東京都千代田区麴町 2-5-20 押田ビル 3F

TEL 03-3556-6080 お問い合わせメールアドレス：info@dancedrilljapan.com

ホームページ <http://www.dancedrilljapan.com/>